

市場から世界をみれば

ISSE 情報システム株式会社 大谷淳一



ヒトゲノムと同様、「種の保存」についても、遺伝子をめぐる戦争状態になっている。

「種の保存」という言葉は、一昔前までは「子孫を残す」に近い意味でも用いられていたが、近年は「生物多様性」にかかわる概念として使われることが多い。一例として、いわゆる「種の保存法」(正式名称は「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」。1992年制定を挙げておこう。

さて、先に触れたように、「種の保存」のために、さまざまな動植物の遺伝子情報を収集・保存する事業が展開されている。

「生物の多様性を維持する」と言えば、すべての生き物が仲良く暮らせる地球を目指すといったイメージで聞こえはいいし、その重要性も否定しない。だが、その裏には欲にまみれた汚い面も見える。

植物の遺伝子は、栽培種はもちろん、野生種や原種に至るまで、広範囲にわたって収集されている。特に野生種や原種の収集には力を入れていて、シード・ハンターの活躍の場はここにある。他の誰も手に入れていない原種を発見したとき、もしもこれが食糧に

いし、その重要性も否定しない。だが、その裏には欲にまみれた汚い面も見える。植物の遺伝子は、栽培種はもちろん、野生種や原種に至るまで、広範囲にわたって収集されている。特に野生種や原種の収集には力を入れていて、シード・ハンターの活躍の場はここにある。他の誰も手に入れていない原種を発見したとき、もしもこれが食糧に

いし、その重要性も否定しない。だが、その裏には欲にまみれた汚い面も見える。植物の遺伝子は、栽培種はもちろん、野生種や原種に至るまで、広範囲にわたって収集されている。特に野生種や原種の収集には力を入れていて、シード・ハンターの活躍の場はここにある。他の誰も手に入れていない原種を発見したとき、もしもこれが食糧に

第10回「シード・ハンター」①

なるとしたら、もしもこれに葉効成分が含まれていたら、これは大きなビジネスになる。遺伝子組換えによる新種開発への可能性を創造できるからである。とはいえ、生物多様性の確立はとても重要な事柄だ。

例えば、100万人とも言われる餓死者とその後大量に移民を出したアイルランドの「ジャガイモ飢饉」(1845-49

【略歴】

1957年北

海道美唄市生まれ。85年、食品管理、生鮮管理のシステムを開発する情報システムを創業。荷受卸売業者や食品製造会社、仲卸業者向けのコンサル